

「北海道地方LPガス意見交換会」報告

8月21日、経産省エネルギー庁主催で、北海道地方LPガス意見交換会が開催され、この2年間道生協連が、「LPガス問題を考える会」を通じて取り組んできたこと等が、公の場で確認され、今後の取り組みの課題が示唆される重要な会議が開催されました。(東京理科大学教授橘川先生はじめ経済産業省、北海道、札幌市、LPガス業界関係者、消費者団体など40人が参加)

冒頭、経済産業省・谷企画官より挨拶と報告があり、①今年、LPガス行政にとって大きな変化の年になった事 ②来年のLPガス販売が変化する事 ③罰則や営業認可取り消しへの言及 ④健全化するまで、省庁が責任を持って指導する 等々のLPガス販売業界にとって大変厳しい内容が報告されました。その後、北海道のLPガス業界関係者(LPガス協会三役)より、事前提出した消費者委員の質問に対する発言があり、①省令は守ります。 ②ガイドラインは守る方向で努力します。と云う報告がされました。

次に、消費者委員(消費者協会3・ホクネット事務局長・道生協連事務局長)5名の発言がありました。消費者協会、ホクネットからは現状の問題点(価格・業者変更時のトラブル・電話相談など)についての内容で報告がされ、続いて道連からは、①省令の一部改正と指針(ガイドライン)制定は大きな前進である事や内容への評価、②家庭用エネルギー自由化促進で、家庭用エネルギー大競争時代という背景の中で調べて・学んで・目覚めた消費者が全国規模で行動を開始し始めた事 ③長年の商慣習と業界体質、行政・業界の危機意識と透明性確保への意識変化等々への評価について報告がされ、その背景として横行していた、顧客確保の為に、LPガス関連機器にはじまり、エアコン・テレビ等にまで拡大した過大投資とその償却費のLPガス価格への転嫁問題等についても厳しく言及致しました。

引続き、「安定供給・適正価格・安全確保」へ!

今年2月24日にはLPガス問題公開学習会が開催され(主催者 前記LPガス問題を考える会)橘川

先生(国のLPガス問題審議会座長・東京理科大学教授)・相内先生(政治学者・小樽商大特認名誉教授)による客観的評価と確認。「LPガス問題を考える会」の調査力、データの収集と分析力、動かぬ証拠の提示と行政・各種審議会への情報提供・消費者団体への働きかけが短期間に国を動かす原動力になった事、などが共有化されました。こうして国を動かす大きな力へと進んできたLPガス問題、課題は今後、来年2月の日生協主催の「灯油・LPガス問題学習会」の中で課題整理と実効的対応への準備へと繋がり、全国的課題として取り組まれます。道生協連としては更に(1)現在開催されている、地方液化石油ガス懇談会開催状況を把握する。(2)今後の行政・業界・消費者の課題を整理。(3)ガイドライン制定後の検査時のチェック項目の公開と9月以降の検査結果の公表、検査結果の評価と課題、ホームページ開設、資金援助、ホームページ作成のノウハウ援助、地域別ホームページのグループ作成のサポート 等について経産省エネルギー庁・消費者庁・業界に対する事前質問票を送り回答を求めていく予定です。今後とも多くの仲間の協働で運動、活動を実らせて行きましょう!



第10回『食べる・たいせつフェスティバル2017in札幌』

8月26日（土）札幌市東区つどーむにて、10回目となる『食べる・たいせつフェスティバル』を開催しました。今年は120団体に出展いただき、参加型体験プログラムも食を中心に過去最高となる83企画を実施し、子ども達が体験を通じて楽しみながら学ぶ食育イベントとして、さらに成長しました。

今年は今道の生協が統合して10周年となることから、「全道のうまいもの大集合」と題し、全道各地の名産品を紹介・販売するブースを設け展開しました。また組合員活動委員会でも地区委員会が推薦するご当地商品を集め、紹介と販売で地域を応援しました。



出展者様による参加型体験プログラムの内容も、事前学習会

を開催したことで企画が充実し、全体のレベルも上がりました。延べ参加回数も1.4万回（前年比113%）を超える参加となりました。

今年も多くの方より、「また来年も行きたい」との声をいただくことが出来ました。地域の皆さまのご協力のもと、開催出来ることに大変感謝をしております。



今後とも皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

来場者 7466名
支援者数 1078名

来場者 7466名
支援者数 1078名

札幌医療生協

第18回ふれあい病院祭

8月19日（土）、「第18回ふれあい病院祭」を開催しました。昨年は雨に見舞われあいにくの天候でしたが、今年は“お祭り日和”の快晴となりました。組合員の皆さま、そして地域の皆さまに日頃の感謝の気持ちを込めて年に一度のおもてなしです。

11時から、13時からの開会に先立ちお祭り気分を盛り上げるプレオープニングイベント『体験コーナー』が始まりました。「押し花アートづくり」、「アロママッサージ」、お子様が看護師や医師になりきる「白衣で記念撮影」、そして生年月日で本当の自分かわかる（!?）「I S D個性心理学講座」の4つです。“プレオープニング”の予定が本祭の閉会予定時間ぎりぎりまでにぎわう盛況ぶりでした。

午後1時、いよいよ本祭の開会です。かわいいちびっ子たちのお神輿の入場が会場を盛り上げます。そして院長の開会宣言でスタート。恒例の新鮮野菜の販売は早くも長蛇の列です。今年のとうきびはとて甘くておいしかったですよ。軽食販売はメニューと数量を

見直し、品切れでご迷惑をおかけすることはありませんでした。

午後2時から恒例のロビーコンサートです。今年には市民オーケストラの方々による弦楽四重奏です。クラシック音楽はもちろん、歌謡曲、童謡、アニメソングまで幅広く演奏していただきました。

毎年、少しずつ内容が“パワーアップ”する「ふれあい病院祭」。今年には清田区のマスコットキャラクター「きよっち」がゲスト出演してくれました。会場のいたるところを練り歩き、思わぬサプライズ出演に子供たちは大喜びです。

今年もあっという間に終わりました。お祭りの後片付けをしていると、毎年、程よい疲労感と共に皆さまの笑顔が思い出され、感謝の気持ちと充実感も感じます。

さあ、気持ちはもう「第19回ふれあい病院祭」です。皆さま来年を乞うご期待！

